

今年度の日本小児循環器学会と Association of European Pediatric Cardiology (AEPC)

との若手研究者短期交換事業について：

2015年11月13日のパリの連続テロをはじめとする国際状況の緊張を受け、日本小児循環器学会と Association of European Pediatric Cardiology (AEPC) は、両学会が行う若手研究者短期交換事業について、今年度に限り、留学時期を、2016年9月30日までの間で変更することも可能であることを確認しました。具体的な日程の変更に関しては、留学生が直接受け入れ先と交渉する必要があります。

テロは、欧州でも米国でも日常的になりつつあり、日本国内でも十分起きうる状況と言わざるを得ません。各研究者は留学前から外務省の海外安全情報における注意喚起等、複数の信頼できるソースから情報収集してください（学会ホームページの「留学中の危機管理について」を参照ください）。

なお、上記の変更にもかかわらず今年度留学できなかった場合、対象となった研究者は、

来年度以降、新規に本事業に応募することが可能です。

2015年12月25日

特定非営利活動法人 日本小児循環器学会 学術委員会・国際交流委員会